

技術・品質で勝負する

技術・品質で勝負する

7

「高品質、高機能製品の開発・製造」、産業社1952年の創業当初の発展に貢献する一歩先で、業容が急拡大する転換期となったのは1977年。これまでに天然ゴ

雪ヶ谷化学工業

SDGs テーマで開発力強化



坂本具社長

おり、化粧品用スポンジの販売も大きく落ち込んでいない。現状は悲観していません。

◆強みを挙げると。ケミカル部門での開発力が強い。基幹工場はつくば工場(茨城県稲敷市)には研究開発部門があり、つくば工場でも新たな需要を喚起した製品をタイ、マレーシア、中国上海の海外拠点へ展開し、国内外

◆今後の事業方針を。SDGsをモットーに、社会の発展に貢献する製品を開発し、各企業がSDGsの理念を共有し、社会全体の持続可能な発展に貢献することを目指している。

の各拠点で品質の良いモノ作りを構築している。製品では、現在SDGs要素を入れた製品開発に注力している。今年2月に販売を始めた「サステイナブルスポンジ」は、天然ゴム100%の「NR-FT」と従来の「NR-FT」と異なる成分をブレンドした「ユキロンR」などをラインナップしている。

サステイナブルスポンジを発売

「NR-FT」で使用する天然ゴムは、コヒ豆やコットンなど同じ、フェアトレード(公正取引)の天然ゴムを使用している。また、当社独自の技術でラテックス

の各拠点で品質の良いモノ作りを構築している。製品では、現在SDGs要素を入れた製品開発に注力している。今年2月に販売を始めた「サステイナブルスポンジ」は、天然ゴム100%の「NR-FT」と従来の「NR-FT」と異なる成分をブレンドした「ユキロンR」などをラインナップしている。「NR-FT」で使用する天然ゴムは、コヒ豆やコットンなど同じ、フェアトレード(公正取引)の天然ゴムを使用している。また、当社独自の技術でラテックス